

<資料 7>

平成30年8月27日
定例記者会見資料

多様な市民が活躍し、支える Sports for All パラ・フェスタ

9月1日に開催する Sports for All パラ・フェスタは、多くの市民が様々な角度から大会に関わり、運営を支えています。

ボランティアサポートとして、審判として、取材者として、アスリートとして活躍する市民にご注目ください。

<Sports for All パラ・フェスタの特徴>

◎パラスポーツのおもしろさを実感できる盛りだくさんのプログラム

- ・ボッチャ体験、ブラインドサッカー体験、視覚障がい者マラソン体験、スポーツ義足体験のほか、卓球体験やかけっこ体験、ボッチャ武蔵野カップ2018を開催

◎多様な市民の関わり

- ・スポーツボランティア「HANDS」の始動

市内90団体(市含む)で構成している実行委員会の下に動き出した武蔵野市スポーツボランティア「HANDS」。12名のスタッフが当日の運営を支えます(8/20時点HANDS登録者46名 随時募集中)

- ・ボッチャサポーター講習会修了者がボッチャ武蔵野カップ2018の審判に従事
(一社)日本ボッチャ協会により実施されるボッチャサポーター講習会(当日イベント会場にて実施)の修了生が、ボッチャ武蔵野カップ2018に審判に従事し、市内初となる大会の運営を支えます。

- ・ジュニア特派員の始動

HANDSと同様に実行委員会の下に動き出した「ジュニア特派員」(登録:小学生8名/中学生3名/高校生1名 計12名)が当日会場に集まり、イベントの取材、ゲストへのインタビューなどを行い、事業の魅力を発信していきます。

※ジュニア特派員によるレポートは、年内発行予定

- ・市民アスリートの協力

市内企業に勤めるアスリート2名、田中章仁選手(ブラインドサッカー日本代表)と青木洋子選手(視覚障害者マラソン)がイベント当日にゲストとして来場し、来場者にそれぞれの競技を紹介するとともに一緒に体験します。



■問い合わせ 企画調整課オリンピック・パラリンピック担当
電話0422-60-1970